

12. 病床利用率(障害者施設等病棟)

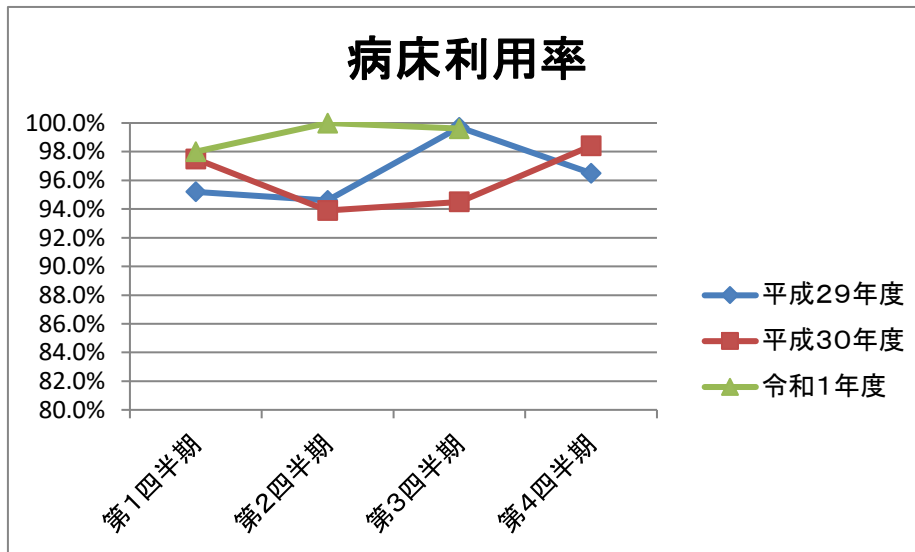
病床利用率は、平均在院日数とともに病院の経営管理状態を示す指標の1つです。経営管理という視点からみると、病院にはヒト、モノ、カネが投資されていて、それらがどの程度効率的に活用されているのかを知る必要があります。もう一つの視点としては、病院のスタッフが入院患者のケアにどれくらい熟練しているのかを知るための指標ともなります。

病床利用率とは稼働病床数に対し、実際に入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標です。

式) 病床利用率 = 入院患者延べ数 ÷ 延べ稼働病床数 × 100 (%)

※入院患者延べ数 = 在院患者延べ数 + 退院患者数(死亡数を含む)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間
平成29年度	95.2%	94.6%	99.7%	96.5%	96.5%
平成30年度	97.5%	93.9%	94.5%	98.4%	96.1%
令和1年度	98.0%	100.0%	99.6%		

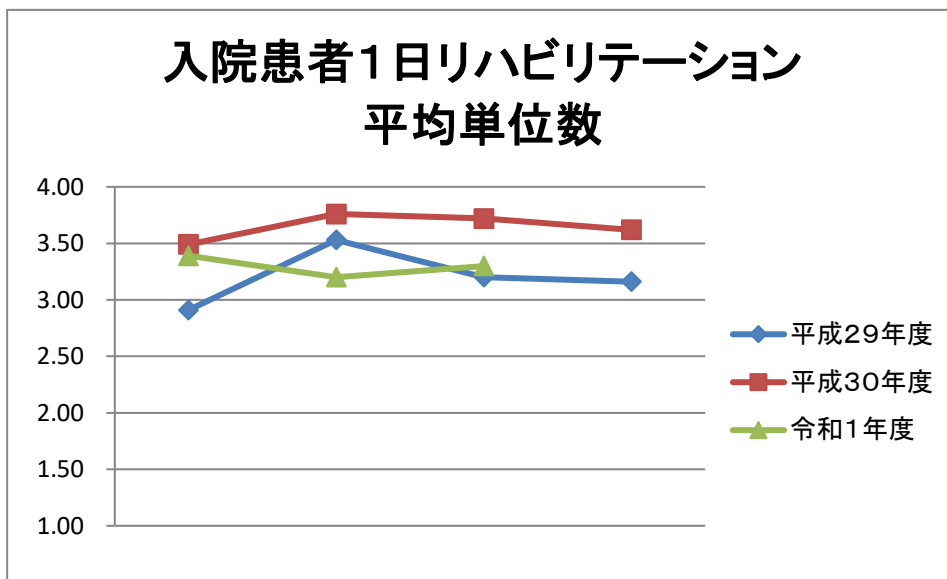


13. 入院患者1日リハビリテーション平均単位数(障害者施設等病棟)

入院患者1人あたりに行う1日のリハビリテーション実施単位数の平均を示します。

式) 入院患者1日リハビリテーション平均単位数 = 総合単位数 ÷ 総合人数 (単位)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間
平成29年度	2.91	3.53	3.20	3.16	3.20
平成30年度	3.49	3.76	3.72	3.62	3.65
令和1年度	3.39	3.20	3.30		



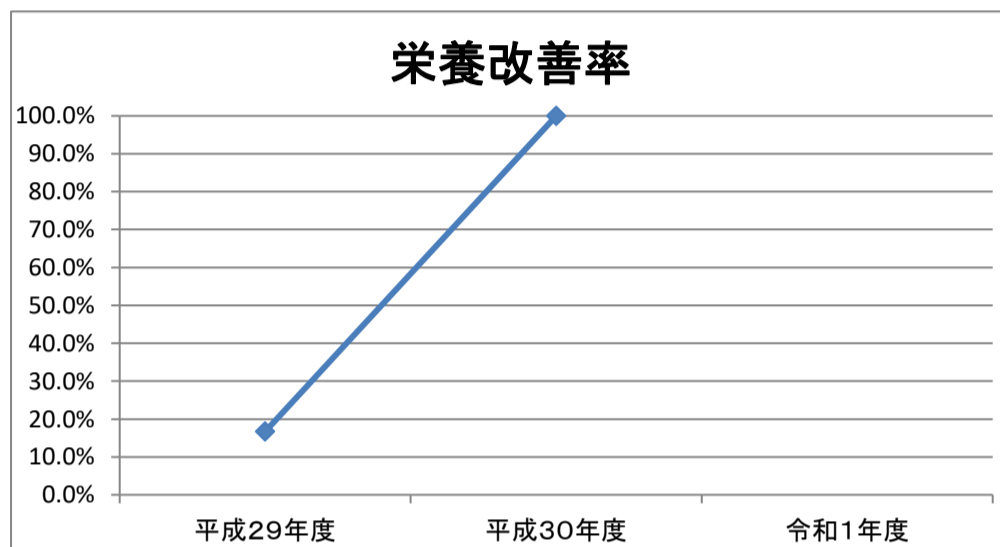
14. 栄養改善率(障害者施設等病棟)

当院では、全ての治療法の基盤である栄養管理の重要性を病院全体に根付かせること、また、治療やリハビリテーションの効果が上がる正しい栄養管理を実践することを目的として栄養不良者を対象に週1回、NSTラウンドを行っています。

※NST=nutrition support team(栄養サポートチーム)の略。医療機関で患者さまの栄養管理を行う専門組織です。医師・看護師・管理栄養士・リハビリテーション部門等、様々な職種が参加し、患者さまの栄養状態の把握や栄養剤投与方針の決定などを行います。

式) 栄養改善率 = 栄養状態改善者 ÷ 栄養不良者(NST介入者) × 100 (%)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度
栄養改善率	16.7%	100.0%	



15. 経口摂取移行率(障害者施設等病棟)

経口摂取(口から食べる)には栄養・水分補給だけでなく、食べるという行為が楽しみや癒しにつながり、QOL(quality of life=生活の質)を向上させるというメリットがあります。

当院のNST連携チームのひとつに摂食嚥下チームがあり、摂食嚥下障害を持つ患者さまに適切な訓練を実施し、経口摂取を可能にすること、全身状態の回復とQOLの向上を図ることを目的に活動しています。

式) 経口摂取移行率 = 経口摂取移行患者数 ÷ 摂食嚥下障害を持つ患者数(摂食嚥下チーム介入者) × 100 (%)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度
経口摂取移行率	0.0%	0.0%	

